

の利害と直接相關するもの無きに似たりと雖も、等しく清國の領土に屬し、其喪失は、老大帝國瓦解の前提たらざるを保すべからず。千丈の堤も螻蟻の一穴より潰え。至堅の榱木も一楔木の挿入より裂くるを思はゞ、焉んぞ寒心せざるを得んや。事既に茲に至らば、清國領土の保全を大方針とし、東亞振興の牛耳を握るの帝國は果して之を對岸の火災視し得べきや否や、識者を待たずして知る可きなり。由來新疆は勿論、西部支那一帶地方の事情を調査するは、極めて緊要の事に屬す、然れども、單に之を特志者に一任するが如きは、斷じて不可なり。宜しく國家の事業として、國庫の資財を以て、大探檢隊を組織するか、若くは政府の保護を以て、公共團隊より調査隊を派遣せしめ、廣く且つ詳に調査せざるべからず。泰西諸強國は、常に國家の事業として、或は國庫の保護を以て、未開地の探檢に従事せしめ、勢力扶植に汲々たるに、帝國獨り拱手傍觀の狀あるは、眞に千古の遺憾に非ずや。識者以て如何と爲す。